

第8期 東久留米市地域産業推進協議会
第3回会議録

- 1 日 時 令和5年11月27日（月）午後6時00分～午後7時15分
- 2 会 場 東久留米市役所 7階 703会議室
- 3 出席者等（敬称略・五十音順）

赤星 良平	荒 昌史	石川 善則	伊藤 成美	榎本 義樹	陰山 ひとみ
齋藤 真理	塩野 麻里	多功 敬	土田 健太郎	野崎 林太郎	

欠席：篠宮昭浩

4 議 事

1 開 会

2 挨拶

3 報 告

4 議 事

（1）各事業部会の今後の取り組みについて（報告・質疑）

- ①イベント推進事業部会
- ②情報発信推進事業部会
- ③新産業創出推進事業部会

（2）その他

5 連絡事項

- （1）委員からの連絡
- （2）事務局からの連絡

6 次回協議会開催日

7 閉 会

1 開 会

【事務局】

ただいまより、第3回東久留米市地域産業推進協議会を開催する。初めに配付資料の確認をさせていただきます。

(配付資料の確認)

2 挨拶

【会長】

前回の本会から本日の本会まで多くのイベントがあり、委員の皆さまのご協力に感謝している。どのイベントも多くの来場者が訪れており、大変盛り上がっていた。今週末のナイトマルシェも多くの来場者が見込まれるため、改めて委員の皆さまのご協力をよろしくお願いしたい。

本日は本会ということで各部会からの報告をさせていただきますが、少しでも疑問等があれば積極的にご発言いただきたい。

3 報 告

■ 商工会

・10月から11月まで実施する予定であったキャッシュレスキャンペーンが大変好評で、予算の都合上11月6日に早期終了した。予算の執行率は96%程度であった。委託事業者からまた新たな報告があれば、必要に応じて情報提供させていただきます。

■ JA

・12月15日(金)、16日(土)に新鮮館で歳末セールを行う。

■ JC

・特になし

■事務局

・11月11日(土)、12日(日)に4年ぶりに市民みんなのまつりを開催し、2日間で43,500人の方が来場した。令和元年度に実施した際の1割減程度の来場者であったが、各主催団体で市民みんなのまつりの実施経験を持つスタッフが少ない中、大きな事故もなく無事に終わることができ、事務局としては良かったと思っている。委員の皆さまのご協力にも感謝しており、引き続きのご協力をお願いしたい。

・12月9日(土)午後1時30分から東久留米市役所の屋外ひろばで地場産野菜の即売会を開催する。

4 議 事

(1) 各事業部会の今後の取り組みについて(報告・質疑)

①イベント推進事業部会

■ 概 要

- ・第8期のイベント推進事業部会の実施予定事業として、12月1日の午後4時30分から午後7時30分までの時間で「東久留米西口駅前ナイトマルシェ Vol 2」を行う。クリスマステーマとしている。
- ・前回のナイトマルシェ実施時の課題に行列の整理があったため、今回は出店者数を13店舗に減らし、それぞれの店舗にスタッフを配置して行列の整理を行う。最後尾の人にはプラカードなどを持たせ、どの店舗の並びかがわかるようにする。
- ・荷捌き場を設け、そこに車を止めて各店舗のタープまでの搬入出を行っていただく。誘導員を1人ずつ配置する予定である。
- ・出店店舗については、委員から出店候補店舗へ声かけを行って確定した。10月23日に説明会を開き、雨天の場合の中止の判断は11月30日の正午に行うことや、並んでいる際にメニューが見られるように配慮してほしいことなどを伝えている。
- ・イベント推進事業部会が主となって実施するが、当日の運営スタッフについては、別紙3のとおり地域産業推進協議会の委員や事務局にもご協力をいただきたい。主に行列の整理をしっかりと行っていきたいと考えており、前回は開始30分前から行列ができていたため、今回は午後4時からそれぞれの店舗に整列担当を配置する。動線の確保、特に点字ブロックの確保することについては強く指導されているため、ご配慮いただきたい。特に午後4時から午後5時30分までの整理をしっかりとできれば良いと考えている。
- ・各委員の席にナイトマルシェのチラシを配付しているため、周知にご協力いただきたい。
- ・道路占用許可の外側の話だが、ナイトマルシェ当日、社会福祉協議会が「赤い羽根、歳末たすけあい募金」の活動を行うとのことである。人が空いてくれば、道路占用許可の中側まで入ってくる可能性もある。

■ 質問及び回答

【委員】

チラシをデザインした絵本作家「すぎはらけいたろう」さんの新刊が10月に発売されている。野崎書林でのイベントとして、ナイトマルシェの開催中に発売記念としてサイン会とショップを行う予定であるため報告させていただく。ナイトマルシェに影響がないよう実施していく。

【委員】

ナイトマルシェに出店したいなどの問い合わせが商工会に来ている。どう回答したら良いか。

【委員】

委員からの声かけで出店店舗を決めているため、出店希望は受け付けていない。内容

などの問い合わせ先としては、産業政策課にお問い合わせいただくようお願いいたします。

【委員】

今回のナイトマルシェでも Instagram 等で多くのご意見をいただくことが想定される。ナイトマルシェ翌日は週休日であるが、ご意見に対して早めに回答することが重要だと思っている。そのため、ご意見に対して回答する人を決めておく必要がある。

【事務局】

イベントに関するご意見であればイベント事業部会が対応を考える必要があると思う。どういったご意見があるかを想定して、回答のテンプレートを作成し、前日までに共有させていただくので、回答に関しては情報発信推進事業部会にお願いしたい。想定外のご意見があった場合は、そのときに考えさせていただきたい。

【委員】

どういった服装で行けば良いか。

【事務局】

寒いと思われるため、暖かく動きやすい服装で来ていただきたい。腕章とカイロは準備させていただく。

②情報発信推進事業部会

■ 概要

- ・リーチ数を増やすための取組みとして、「#スパジャポ」「#恐竜」「#コココーラ」等のハッシュタグを付けることでどの程度リーチ数に影響があるか検証を行うことにした。
- ・4月からの投稿に関するリーチ数等の報告、リーチ数上位の投稿の紹介を行った。現在はナイトマルシェの投稿のみ実施している。
- ・「超たまらん博」では、シャルキュトウリー・モエと秋田緑花農園を中心に出店の準備し、そのほか東久留米市の特産物の販売や東久留米市に関わる配布物の配布などを行った。来場者は東京都推計値で95,238人とこのことで、東久留米市の情報を広く発信することができた。売上げ金額に関しても、令和元年度に実施した「多摩の超文化祭」の2倍を超える売上げを記録した。
- ・東久留米市の事業であるが、地域産業推進協議会にデザインの方角性をご検討いただいた新たなデザインマンホール蓋のデザインが決定し、市民みんなのまつりでお披露目イベントを行った。また、12月11日までの期間で coconey というアプリを使ったデジタルスタンプラリーを実施中である。
- ・デザインマンホール蓋の完成後はスパジウムジャポンの南側の歩道に設置を予定している。

補 足

【委員】

「超たまらん博」の売上げについて、報告書上は、花卉、パンケーキミックス、東京ジャム、東京百花はちみつの合計が記載されているが、メインの花弁だけで82,670円、そのほかの加工品、パンケーキミックス、東京ジャム、東京百花はちみつで16,100円といった内訳である。加工品の売上げは多くなかったが、シャルキュトウリー・モエのフランクフルト、秋田緑花農園の花弁といった東久留米市で活躍している事業者のPRができたことが良かったと思っている。

■ 質問及び回答

【委員】

来年度以降、超たまらん博のような企画はあるのか。また、今回は情報発信推進事業部会に対応したが、次回があった場合は対応するところは決まっているのか。

【事務局】

今のところ話は聞いていないが、超たまらん博も5月頃に急に話が出てきたため来年度の実施可否は不明である。対応するところも決まっていなかったが、仮に行政が対応する場合には出店事業者の公募から始める必要があり、今回のように話があってから開催までの期間が短い場合には、地域産業推進協議会や商工会にお願いする必要があると考えている。

③新産業創出推進事業部会

■ 概 要

- ・「移住・定住の促進」をテーマとして事例研究を行う中で、三浦半島の取組み（SUKIMACHI MIURA）を参考にして、人と人・場をつなげるような取組みを実施することとした。事務局でご意見を整理して、別紙のような事業案を取りまとめた。
- ・地域産業推進協議会の大きな目的の一つである地域産業の活性化と、「移住・定住の促進」といったテーマにおける新産業創出推進事業部会の役割は「人と人・場をつなぐプラットフォーム」であるという考えを念頭に、起業を志す人が様々なコミュニティを形成できるような場の提供及び起業を志す人のアイデアとフィールドストックとをマッチングするという事業案で、創業塾のようなプログラムとビジネスプランコンテストを兼ね合わせたものとなっている。
- ・様々な業界の創業者を講師として招き、講師や参加者同士でコミュニティを形成できる場の提供、また、フィールドワークやワークショップをメインとすることで起業者のアイデアや起業意欲を刺激できると考えている。
- ・ビジネスコンテストについては、賞金は出さず、市民みんなのまつりやナイトマルシェへの無料出店や「はしチョコ」での事業者紹介などの地域産業推進協議会ならではのインセンティブを検討している。

- ・令和6年度の予算要求では3,850,000円を要求しており、本事業が対象となる国・都補助金があれば活用していく。予算要求額が満額配当されなかった場合は、プログラムをコンパクトにして対応していく。
- ・ターゲットをどうするかなどの事業内容の詳細は今後協議していく。
- ・起業を志す人を集める際には情報発信推進事業部会に依頼させていただいたり、イベント推進事業部会にイベントのノウハウを教えていただいたり、他の事業部にもご協力いただきたいと考えているため、よろしくお願ひしたい。

補 足

【副会長】

新産業創出推進事業部会は、任期2年間の中で、今年度に準備を進め、来年度に事業を実施することとして進めてきている。部会内でも様々な話し合いを行い、事務局に事業案を形にさせていただいたが、詳細までは決まっていないため、そうした点を踏まえてご確認いただきたい。

【委員】

これまでの地域産業推進協議会での事業と比較して予算額が大きいのが、新産業創出に向けて起業したい人を誘致するためには必要な経費であると思っているため、予算が満額通ればしっかりと推進していき、多少削られてもコンパクトな形に修正しながら進めていきたいと考えている。

質問及び回答

【委員】

資料中、7の「特定創業支援等事業認定者の増加」と「創業者の増加」の違いを説明いただきたい。

【事務局】

東久留米市や多摩信用金庫で行っている特定創業支援等事業として、経営、財務、人材育成などのプログラムを最後まで受講した方を「特定創業支援等事業認定者」として認定している。認定されると創業時の税金が安くなる、融資が受けやすくなるなどのメリットがある。平成28年頃からこの制度が始まり、現在合計で40名の認定を行っているが、令和4年度末時点で実際に創業した方は30名である。認定者の75%が実際に創業しているため、「特定創業支援等事業認定者の増加」が「創業者の増加」につながるといった意味で記載させていただいた。

【委員】

東久留米市の創業者はどのような業種が多いのか。

【事務局】

建設業などが多い印象である。

【委員】

現時点でターゲットとする業者は絞っているか。

【事務局】

今後テーマをさらに絞っていく中でターゲットも絞られると考えている。ターゲット層によってPR戦略なども変わっていくため、今後新産業創出推進事業部会内でしっかりとテーマを検討していく。

(2) その他

- ・なし

5 連絡事項

(1) 委員からの連絡

- ・なし

(2) 事務局からの連絡

■ 連絡事項

- ・なし

6 次回協議会開催日

【事務局】

後日日程調整を行う。

7 閉 会

【事務局】

これにて第3回東久留米市地域産業推進協議会を閉会としたい。